



地域づくりだより

協議会では、暮らしやすい町を作るために地域の皆さんが集まって、「住みよい寿」について考えています。

共に学び、備え、安心できる地域づくりを目指して

楽しいだけで日本を救う！

ことぶきサポート推進協議会では、公民館と福祉ひろば・地区生活支援員で進める寿セカンドライフ大学に共催の形で、サポーター養成講座を開いた。

「ぶつ飛び和尚」と言われた小布施町にある浄光寺副住職の林映寿さんが、想像を超えた発想や苦勞話をわかりやすく講演した。

防災意識の維持向上にむけ



一般財団法人日本笑顔プロジェクト代表
林 映寿さん

講演会は、9月26日に70名余りが参加して開かれた。

林さんは、2019年の台風19号の災害支援に参加した。

人の力の限界を感じる中で重機の活躍を目の当りにし小布施にアミューズメント型防災パークを作った。

そこで子ども達に楽しみな



参加者にプレゼントされた笑顔はがき。家で一番目につくトイレに飾って笑顔になって下さい

がら重機の操作を教え将来の災害支援に備える一方、大人には有料で免許取得支援を行い施設の運営費用を賄う。「子どもは自転車と同じで小さい頃に覚えた操作は大人になっても自然にできるので、万一の場合は大きな力になる」との言葉が印象に残った。



万一の時に事前準備の大切さを学んだ講演会。今後の地域づくり活動に活かす

「ことぶきキッチン」出店

ことぶきサポートでは、今年度で地域づくり支援金が終了するため、活動資金を賄おうと11月2日に行われた寿地区文化祭に「ことぶきキッチン」を出店した。



大好評で、たこ焼き・フライドポテト・フランクフルトを全て完売した

夏休み体験学習で草取り

7月26日、ことぶきサポートの募集に応募した筑中CSふたむらの21人が地区内の4軒の高齢者宅で奉仕活動を体験した。



高齢者宅で草取りに汗を流す筑中CSふたむらの生徒

のーとスマホ講座開催

7月と9月に町内公民館を中心にスマホ講座と乗車体験会を開いた。町会毎にバラツキがあったが延べ59名が受講した。また、YouTubeには、のーとの動画をアップしてあり「のーと寿」で視聴できる。



福祉ひろばでのスマホ講座。地区内では10ヶ所で開催した

のーとリーフレット第2弾

のーと利用促進のため8月に配布した「イオンモール周辺案内」に続き、11月に第2弾で「平田駅周辺案内」を配布した。



平田駅周辺の店舗などを紹介するリーフレットの表紙

各部会の活動

協議会では8月27日に第2回専門部会を開催した。

各部会ではそれぞれで進めてきた活動と合わせ、来年度から始まる第2期地域づくり計画の部会目標を素案としてまとめた。今後編さん委員会で検討する。

総務部会

総務部会では、事前に収集した各町会の地域づくりの取組を過去4年間分まとめた資料を中心に、支え合いや居場所づくりで特に工夫している事などを出し合った。その後出された意見を参考に第2期計画の事務局素案を検討した。



5グループに分かれて過去の資料を基に第2期計画の素案を検討した総務部会

部会としてまとめた第2期の重点目標は以下の4項目で今後編さん委員会に諮る。

- ①各町会や地区の各種事業への住民の参加を推進します。
- ②「ことぶきサポート」の運営を推進します。
- ③防災・減災体制の構築を推進します。
- ④「のーと松本」を中心に、交通弱者の足の確保を推進します。

福祉部会

福祉部会では、施設見学会チラシを一般参加者向けにカラー印刷し、受入施設の住所や地図なども入れ回覧で募集した。

また、福祉ひろばなどの事業参加者には直接案内を行った。

参加者は49名(内一般29名)となり、9月18日の寿の里を皮きりに8施設を見学した。



施設見学会募集チラシ(表面)一般参加者向けに地図なども入れた

また、10月15日に開催された福祉ひろば主催の「みんなのひろば」「みんなのマルシェ」に協力参加し、ドリンクコーナーの応援などを行った。

マルシェでは「ことぶきサポート」と「のーと松本」の広報活動も併せて行った。

専門部会では、事前に部会員に送付した第2期計画の事務局案について意見交換を行い、出された意見を基に役員事務局会で部会案としてまとめる事とした。

また、来年度開催を計画する映画会のために、推薦映画の予告編8本を鑑賞した。



福祉部会ではみんなのマルシェでドリンクコーナーの応援を行った

子ども部会

子ども部会では、7月29日に開催された「わくわく子ども縁日」に「くるくるレインボー」の工作で出店した。子どもたちから好評を得た。



大盛況の子ども部会ブース。くるくるレインボー130本を作成した

8月30日には「スマホ・タブレットと健康的に付き合える子どもの育て方」と題した保護者向け講演会を開いた。

講演会はNOM併用で、広報には地区の保護者向けメールや市の公式「ラム」も使って参加者の募集を行った。



講師のNPO法人「子どもとメディア信州」代表理事 松島恒志さん

第2期地域づくり計画

第2期計画の編さん委員会では、ダイジェスト版ガイドブックの3月全戸配布を目指している。各種会議後に委員会を開いてきて、10月末に大筋をまとめた。カラー版A4見開き4ページとなる。



ガイドブックの表紙。協議会の活動や地域の行事を紹介している

ニュース26号

令和7年10月21日
第104代目総理大臣
高市早苗内閣が発足

令和7年11月2日
米大リーグWS
ドジャースが2連覇

協議会からのお知らせ

地域づくり協議会の活動に参加しませんか?
これからの「寿」について一緒に考えましょう!
連絡先・☎58-2038
寿地区地域づくりセンター